

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第253回)

日時 平成29年9月26日(火) 午後1時半～3時半
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第5会議室
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、
永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。そ
の時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにて
お待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第5会議
室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について想う
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、平成29年上半期の交通死亡事故の特徴等
 - 3、平成29年秋の全国交通安全運動の実施
 - 4、交通事故統計(8月末及び9月25日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る7月25日開催の第252回交通部会は、松本治男部
会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について」と題して
開会挨拶がありました。高齢運転者による交通事故防止は、国家
的課題という認識のもと、提言を検討している。自動運転の普及
や高齢者を対象とした自動運転車両限定免許の導入などもその
対策の一つである。高齢者の交通手段の確保と安全な交通環境の
確保を両立させるには有効な手段だ。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、

「高齢運転者交通事故防止対策に関する提言」について解説がありました。高齢運転者による交通事故防止対策に関する関係閣僚会議における安倍総理の指示を踏まえ、1月から高齢運転者交通事故防止対策会議に関する有識者会議を開催し、高齢者の特性が関係する交通事故防止のために必要な方策について検討している。①医師会との連携による認知症診断を行う協力医師の確保に向けた取り組みの推進、高齢者講習の受講待ち期間を短縮する等、改正道路交通法の各自な施行。②認知症の早期診断・視野障害やその他身体機能の低下に伴うリスクの広報啓発。③運転免許証自主返納の促進に向けた広報啓発。④安全運転サポート車の普及、逆走防止技術などの先進技術の活用が対策の主たる柱である。そのほか、免許返納した高齢者への代替移動手段の確保、安全運転サポート車の普及啓発、逆走事故防止、運転適性相談や免許制度の見直しについて検討している。

次に、「交通事故統計」について解説がありました。部会前日（7月24日）までの死者数は1675人で、前年比152人の減。6月、7月の月間は昨年より増加しているので、減少傾向に歯止めをかけないようより徹底した取締を実施していく。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出ました。◎かかりつけ医が認知症という診断を下すと、高齢者がそれ以来来なくなってしまうことを恐れて判定が甘くなることもあったが、新しい基準が適用されてからは厳格になるだろう。◎高齢者の家族からも免許返納の相談をしやすい窓口を地域において。などの意見が出されました。

★ 資料代 会員500円
次回、9月26日（火）の交通部会（衆1）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____

電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

（その際の会費は二千元となります。）

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

H P <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp